

英語プラスワン実践外国語Ⅰ

英語や第二外国語を気持ちよく使ってみましょう

自信を持って日常的な事態に英語で対処することや、英語以外の言語(中国語・フランス語・ドイツ語のうち一言語)で外国の方とカタコトの会話ができるようになるための講座です。

世界的な人の行き来により、これまで外国語を使わずにいた人も、簡単な外国語を使う機会が増えています。自分の言葉で話すと、より直接的で良好な人間関係を作れる可能性もあります。英語をブラッシュアップして使える英語にしたい人、他の言語でも簡単な会話やおもてなし、仕事上の交流をしたい方に適したプログラムです。

英語科目の到達目標:CEFR B1(仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。日常的であり複雑でない事態に自信を持って対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題、よく知っている内容について、筋の通った簡単な文章を作ったり発表したりできる。英語を使って基本的な人間関係を構築できる。)

初習言語科目の到達目標:初歩～CEFR A1(日常的でごく基本的な表現を理解することができる。ゆっくりわかりやすく話し、助けてくれる人となら簡単なやり取りができる。)

正課の授業科目を利用したリスニングプログラム科目一覧

プログラム名	英語プラスワン実践外国語I
プログラム設置部局	国際基幹教育院
プログラムコーディネーター	大藪 加奈
概 要	英語を使って日常的な事態に自信を持って対処することや、英語以外の言語(中国語・朝鮮フランス語・ドイツ語のうち一言語)で外国の方とカタコトの会話ができるようになるための講座です。 世界的な人の行き来により、これまで外国語を使わずに暮らしてきた人も、簡単な外国語を使う機会が増えています。翻訳アプリなどに頼ることもできますが、自分の言葉で話すことで、より直接的で良好な人間関係を作れる可能性もあります。昔習った英語をブラッシュアップして使える英語にしたい人、英語にプラスして他の言語でも簡単な会話やおもてなし、仕事上の人との交流をしたい方に適したプログラムです。
到達目標	・英語科目の到達目標:CEFR B1(仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。日常的であまり複雑でない事態に自信を持って対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題、よく知っている内容について、筋の通った簡単な文章を作ったり発表したりできる。英語を使って基本的な人間関係を構築できる。) ・初習言語科目の到達目標:初歩～ CEFR A1(日常的でごく基本的な表現を理解し使うことができる。自分や他人を紹介でき、住んでいる場所や知っている人、持ち物などの個人的な事柄について尋ねたり答えたりできる。ゆっくりわかりやすく話し、援助してくれる人となら簡単なやり取りができる。)
履修資格・条件・前提知識の目安	英語科目:高等学校卒業程度の英語文法理解と語彙力を有し、積極的に授業内活動に参加できること。大学教養課程で英語を学んだ経験がある事が望ましいが、予習・復習がしっかりできる場合はその限りではない。 第二外国語科目:基礎1・実践基礎1は初めてその言語を学ぶ人対象。基礎2・実践基礎2は文字や基本的な発音、簡単な文法や語彙を少し学んだ人対象。
履修期間及び開始Q	履修期間Q1からQ2、開始Q:Q1
修了要件	英語から4単位、その他の1言語から2単位の計6単位以上を修得すること

授業科目名	開講学類等	単位数		修了要件 内訳	備 考
		必修	選択		
英語学術リテラシー科目(Presentation)	共通教育科目		1	4単位 修得	Q1またはQ2で受講可
英語学術リテラシー科目(Interaction)	共通教育科目		1		Q1またはQ2で受講可
英語学術リテラシー科目(English for STEM)	共通教育科目		1		Q1またはQ2で受講可
英語学術リテラシー科目(Science and Society)	共通教育科目		1		Q1またはQ2で受講可
英語学術リテラシー科目(Reading and Discussion)	共通教育科目		1		Q1またはQ2で受講可
中国語基礎1	共通教育科目		1	1言語 から2 単位 修得	Q1・火曜2・3限木曜3・4限で受講可
中国語実践基礎1	共通教育科目		1		Q1・火曜2・3限木曜3・4限で受講可
フランス語基礎1	共通教育科目		1		Q1・火曜2・3限で受講可
フランス語実践基礎1	共通教育科目		1		Q1・木曜3・4限で受講可
ドイツ語基礎1	共通教育科目		1		Q1・火曜2・3限木曜3・4限で受講可
ドイツ語実践基礎1	共通教育科目		1		Q1・火曜2・3限木曜3・4限で受講可
中国語基礎2	共通教育科目		1		Q2・火曜2・3限木曜3・4限で受講可
中国語実践基礎2	共通教育科目		1		Q2・火曜2・3限木曜3・4限で受講可
フランス語基礎2	共通教育科目		1		Q2・火曜2・3限で受講可
フランス語実践基礎2	共通教育科目		1		Q2・木曜3・4限で受講可
ドイツ語基礎2	共通教育科目		1		Q2・火曜2・3限木曜3・4限で受講可
ドイツ語実践基礎2	共通教育科目		1		Q2・火曜2・3限木曜3・4限で受講可

正課の授業科目を利用したリスニングプログラム科目一覧

特記事項	コミュニケーション科目であるため、対面授業での履修を推奨します。最終試験以外オンラインを希望する場合は、事前にご相談下さい。 第二外国語は「基礎」が文法中心、「実践基礎」が会話中心の授業です。レベルは基礎1・実践基礎1:初めて学ぶ人対象、基礎2・実践基礎2:CEFR A1レベルです。「基礎」1・2または「実践基礎」1・2の履修を推奨します。
問合せ先	プログラムコーディネーター:国際基幹教育院外国語教育系 大藪 加奈 メールアドレス: oyabu@staff.kanazawa-u.ac.jp 担当係:学務部基幹教育支援課基幹教育学務係 メールアドレス: stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

プログラム名						
英語プラスワン実践外国語I						
プログラムのCP(教育課程編成に関する基本的考え方)						
<p>本プログラムではこれまでに習った英語を自信を持って使えるようにするとともに、第二外国語を一つ選び、基本的な挨拶や簡単なやり取りをすることで、円滑な人間関係構築の足掛かりをつけられるようにすることを目指す。</p>						
教育内容・教育方法(教育課程実施)に関する基本的考え方						
<p>教育内容 1. 英語科目を4科目以上履修することで、これまでに身につけた英語力を実際に使えるレベルに向上させる。 2. 第二外国語を初歩から学ぶことで、その言語の日常的・基本的な表現を学び、使えるようにする。</p> <p>教育方法 1. 対面授業を基本とし、授業内の口頭活動や受講者同士のグループワーク、ペアワークなどに参加することで、実際に学習対象の言語を使う機会をふんだんに提供する。 2. 生成AIなどの適切な使い方を学び、AIが出力した表現を評価する力を養成する活動を授業に組み込む。</p>						
プログラムを構成する科目						
科目番号	授業科目名	学修目標	Q1	Q2	Q3	Q4
77621	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	短い英語プレゼンテーションができる。	○	○		
77622	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	短い英語レクチャーを理解できる。英語の共同作業が円滑に進むよう人間関係が構築できる。	○	○		
77623	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	技術英語が理解できる。	○	○		
77624	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	科学と社会に関する文章を読んで、議論することができる。	○	○		
77625	英語学術リテラシー科目 (Reading and Discussion)	様々な英語読解法を習得し、英語で議論できる。	○	○		
7451i	中国語基礎1	中国語の基礎文法が理解できる。	○			
7451m	中国語実践基礎1	中国語の基礎会話ができる。	○			
7421i	ドイツ語基礎1	ドイツ語の基礎文法が理解できる。	○			
7421m	ドイツ語実践基礎1	ドイツ語の基礎会話ができる。	○			
7431i	フランス語基礎1	フランス語の基礎文法が理解できる。	○			
7431m	フランス語実践基礎1	フランス語の基礎会話ができる。	○			
7451j	中国語基礎2	中国語の初級文法が理解できる。		○		
7451n	中国語実践基礎2	中国語の初級会話ができる。		○		
7421j	ドイツ語基礎2	ドイツ語の初級文法が理解できる。		○		
7421n	ドイツ語実践基礎2	ドイツ語の初級会話ができる。		○		
7431j	フランス語基礎2	フランス語の初級文法が理解できる		○		
7431n	フランス語実践基礎2	フランス語の初級会話ができる。		○		